



ザンバーン通信

女子学生インタビュー

理工系の室蘭工業大学で、生き生きと学生生活を送る女子学生たちにインタビュー！進学を決めた理由や、現在学んでいることなどについてお話しいただきました。将来の目標に向けて前向きに学ぶ姿を見て、「理工系って面白そう!」、「私もやってみたい!」と感じる中高生の皆さんが一人でも増えることを期待しています。

室蘭工業大学を志望した理由

小学生の頃から住宅展示場に行くのが好きで、建築に興味を持っていました。高校生になり、建築を職業にしたいと考え、大学を調べたところ、北海道で建築を学べる大学の1つが室蘭工業大学でした。建築を目指すことに対して家族からの反対はありませんでしたが、室蘭工業大学の女子学生の少なさについては心配されました。それでも「行きたいから行く」という強い意志で進学を決めました。

建築への興味と進路の変化

当初は意匠設計に興味がありましたが、大学の授業を通じて自分には向いていないと感じ、構造系へ転向しました。現在は建物の荷重や地震に対する計算を行う構造系の分野で学んでいます。卒業研究では「構造ヘルスマニタリング」に取り組んでおり、建物に設置した加速度センサーを用いて、建物の状態をモニタリングする技術を研究しています。この技術により、地震発生時の建物の被害状況を遠隔で把握し、被害状況の早期評価に役立てることで、迅速な復興につなげることを目指しています。タイの留学先では別の分野に取り組んでいましたが、大学院でもこの研究を続ける予定です。

学士修士一貫教育を活かしたタイ留学

大学院進学を考えたのは2年生の前期です。当初は進学を考えていませんでしたが、授業や先輩の話を通じて学びを深めたいと思うようになりました。海外大学院も検討しましたが、家族の希望も考慮し、学士修士一貫教育の仕組みを活かしてタイ留学を選択しました。留学前にネパールや台湾、カナダを訪れましたが、タイでは「住む」経験を通して、自分が日本をよく知らないことに気づかされました。

現地では「国際開発学」を学び、貧困や発展についての基礎知識を得るとともに、ロジスティクス・サプライチェーンのプロジェクトにも参加しました。また、交通工学の授業では事故防止策を考える課題に取り組み、先進国と発展途上国の違いを学び、日本の恵まれた環境を再認識しました。さらに、長期休みには、大洪水の被災地で家の再建を手伝うボランティア活動に参加したほか、伝統的な民族の家庭でのホームステイを通じて異文化を直接体験するなど、貴重な機会を得ました。

将来の目標

「世界中の人を笑顔にする」という漠然とした夢があります。留学を通じて得



創造工学科建築土木コース
建築学トラック
学士修士一貫教育プログラム4年
加藤 なつみさん

た「誰かのためになる」実感を大事にしたいので、建築の知識を生かすかはまだ決めていませんが、まずは日本について深く学び、説明できるようになりたいです。そして、将来は、海外で経験を積みながら、夢の実現に向けて進んでいきたいと考えています。

室蘭工業大学の環境について

女子学生が少なく不安に思う人もいるかもしれませんが、その分仲間意識が強くなり、団結力が生まれます。また、異なる分野に興味を持った際に先生方が応援してくれる環境も魅力です。ぜひ、やりたいことがあるなら突き進んで欲しいですね。



■ 教職員のためのダイバーシティセミナー2024 ■

「地方国立大学におけるダイバーシティ推進をめぐる課題 ～岩手大学での取り組みに携わって～」

講 師：海妻 径子氏（岩手大学 副学長）
日 時：令和6年12月4日（水）10：30～12：00
場 所：オンラインセミナー
対 象：本学の学生、大学・研究機関の研究者、技術者及び職員
その他ダイバーシティに関心のある方

教職員のためのダイバーシティセミナー2024
地方国立大学におけるダイバーシティ推進をめぐる課題
～岩手大学での取り組みに携わって～

日 時 2024年12月4日(水) 10:30～12:00

会 場 オンライン開催

講 師 海妻 径子氏
(お問い合わせ)

岩手大学
副学長
ダイバーシティ推進室室長

対象
全教職員
本学学生、大学・研究機関の研究者、技術者
その他ダイバーシティに関心のある方

お問い合わせ先
岩手大学男女共同参画推進室
TEL 0143-46-5018
E-mail ge_ufr@muroran-it.ac.jp
URL https://u.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

令和6年12月4日（水）、教職員のためのダイバーシティセミナー2024をオンライン開催しました。この講演会は、本学の教職員を主な対象に男女共同参画推進の意識啓発を目的として、年1回開催しています。

本年度は、講師に岩手大学副学長 海妻 径子氏をお招きし、「地方国立大学におけるダイバーシティ推進をめぐる課題 ～岩手大学での取り組みに携わって～」と題して、岩手大学でのワークライフバランス支援・女性研究者の積極的な採用・次世代を担う学生に向けてなどの取り組みについてご講演いただきました。当日は30名の参加があり、「海妻先生ご自身の経験談が非常に説得力があり、やはりそうだよなと考えさせられました。ベテランの男性教員こそ聴くべき講演だったと思いました。」「年代や職種等問わず、より多くの人々が意識共有を図りながら参画していかなければ進んでいけないことを改めて痛感しました。」などの感想が寄せられました。

■ キャリア形成のためのランチタイムセミナー第20回 ■

「研究とライフのキャリア選択」

講 師：中西 和嘉氏（国立研究開発法人物理・材料研究機構（NIMS）高分子・バイオ材料研究センター主幹研究員）
日 時：令和6年10月9日（水）12：10～12：50
場 所：室蘭工業大学教育・研究1号館 A317室
対 象：本学の学部学生・大学院生 他

違う分野の研究をすることになっても今までの研究で得た経験は決して無駄ではなく、現在の研究に活かすことができていること、研究者としていつまでも研究を続けることができること、自分軸での幸せを見つけていくことなど、ご自身の経験をお話いただきました。

当日は23名の参加があり、「研究職の面白さを初めて感じて自分の興味を持つ分野を深めることに魅力を感じた」「迷ったときにどうするべきか、行動のヒントになることが聞けて良かった」などの感想が寄せられ、今後のキャリア形成を考える機会となりました。



■ キャリア形成のためのランチタイムセミナー第21回 ■

「軌道変更と修正の連続 ―その時にやりたいことを―」

講 師：酒向 明子氏（基礎地盤コンサルタンツ株式会社 北海道支社 地盤技術部 課長）
日 時：令和7年1月21日（火）12：10～12：50
場 所：室蘭工業大学教育・研究1号館 A317室
対 象：本学の学部学生・大学院生 他

出産・育児を経て復職した後に感じた女性技術者を取り巻く環境の変化、技術士の資格取得を通じて改めて気付いた家庭と仕事の両立のために家族が協力しあうことの大切さ、技術者の仕事の楽しさ等をご自身の経験を踏まえてお話いただきました。

当日は39名の参加があり、「技術を知らないと言えないという言葉がとても印象に残った。当たり前だが心に留めておきたい」「女性目線で技術者として働く難しさについては詳しく聞いたことがなかったので、初めてこのようなお話を聞き、新しい目線での考え方が深まったと感じた」等の感想が寄せられ、好評のうちに終了しました。



ダイバーシティ通信 第21号（2025年3月）

国立大学法人 室蘭工業大学 男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット（UFR）
〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号 TEL：0143-46-5018 / FAX：0143-46-5032
E-mail：ufr@muroran-it.ac.jp URL：https://u.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

本誌および本学の男女共同参画等についての
ご意見・ご要望をUFRまでぜひお寄せください。

男女共同参画推進室
Office for Promotion of Gender Equality

女性研究者
支援ユニット
Unit for Female Researchers

本学の男女共同参画推進を応援して下さる個人・企業からのご寄付を受け付けております。
詳しい手続きは下記URLをご覧ください。
https://u.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/kifu.html
ぜひご協力を賜りたく、お願い申し上げます。